

ソニー生命は米国の格付機関ムーディーズ・インベスターズ・サービスから保険財務格付け「Aa3」を取得しました。

ソニー生命保険株式会社(社長 川島 章由)は、平成18年3月16日付で、米国の格付機関として定評のあるムーディーズ・インベスターズ・サービスから、保険財務格付け「Aa3」を取得いたしました。

「Aa3」という高い格付けを取得できたことは、順調に事業を拡大し、健全性を維持してきた結果と認識しております。

<今回当社が評価されたポイント>

- ・ 経験豊富な金融プロフェッショナル「ライフプランナー」によるコンサルティング営業を通じ、効果的な保険契約の販売を行っている。
- ・ 過去数年にわたり、比較的高い継続率を維持し、保有契約を安定的に伸長させてきた。
- ・ 最高水準のソルベンシーマージン比率を維持しており、資本基盤は引き続き強固である。
- ・ ソニーフィナンシャルホールディングス株式会社の中核企業として、ソニー銀行株式会社やソニー損害保険株式会社との連携による相互販売を通じ、新規契約の増加および顧客基盤の拡大を図っている。

今回の格付けを機に、さらにお客さまの満足度向上、経営基盤の強化に努め、「顧客に選ばれる生命保険会社」を目指してまいります。

以上

ご参考:ムーディーズの保険財務格付けの定義

- Aaa 支払能力が極めて優れている保険会社に対する格付け。信用力が変化する可能性はあるが、予見できる変化によって基本的な財務力が損なわれるとは極めて考えにくい。
- Aa 支払能力が優れている保険会社に対する格付け。Aaa 格と Aa 格を合わせて、一般に優良保険会社と呼ばれる。Aaa 格の保険会社と比較して長期的なリスクがやや高いとみられるため、格付けを低くしている。
- A 支払能力が良好である保険会社に対する格付け。しかし、将来のある時点において、支払能力に影響を及ぼしうる要因がある。
- Baa 支払能力が適切である保険会社に対する格付け。しかし、長期的にみた場合、確実性を支える要素のいくつか欠けているか、その性格上、信頼性が不足している部分がある。
- Ba 支払能力に疑問がある保険会社に対する格付け。これらの会社の保険契約債務支払い能力はやや低く、したがって将来の支払いに関して安全性が十分でない場合もある。
- B 支払能力が弱い保険会社に対する格付け。長期的にみた場合、保険契約債務が期日通りに支払われる可能性は低い。
- Caa 支払能力がかなり弱い保険会社に対する格付け。保険契約債務の支払いに関してデフォルトに陥っているか、または保険契約債務の期日通りの支払いが困難であることを示す要素がある。
- Ca 支払能力が極めて弱い保険会社に対する格付け。保険契約債務支払いでデフォルトに陥っているか、または重大な危険性がある。
- C 支払能力が最低の保険会社に対する格付け。支払いの安全性が確保される見込みは極めて薄いとみられる。

注:ムーディーズは Aa から Caa までの格付けに、1、2、3 という数字付加記号を加えている。数字付加記号は格付けグループ内での位置付けを示すために用いられ、1 が上位、3 が最下位である。ただし、文字格付け記号(Aa など)が同一であれば、財務力はおおむね等しい。